

学校教育目標	認めあい 高めあい 助けあい ゆたかに花咲け保中生 ○自らすすんで学び、考えを深める生徒を育てます。(知) ○人権を尊重し、自分も他者も大切に生徒を育てます。(徳) ○心と体を鍛え、元気で明るい生徒を育てます。(体) ○地域の一員として、地域を大切に、自ら行動を起こす生徒を育てます。(公) ○日本の歴史・文化への理解を深め、広い世界で活躍できる生徒を育てます。(開)				
	創立 77 周年	学校長 工藤 祐嗣	副校長 鈴木 浩	3 学期制	一般学級: 23 個別支援学級: 5
学校概要	児童生徒数: 924 人 主な関係校: 上星川小、常盤台小、坂本小、星川小、仏向小				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	保土ヶ谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自己も他者も尊重する力> <社会と関わっていく力> <すすんで挑戦し、向上していく力>	保土ヶ谷中 上星川小 常盤台小 坂本小 星川小	○人・もの・ことのかかわりを通して自らの考えを深め、豊かなコミュニケーション力を持つ子ども ○学習や生活のよい習慣を身につけ、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども ----- ・小学校・中学校間の授業参観や研究授業参観及びその後の研究討議への参加 ・保土ヶ谷中学校文化祭に児童作品出品 ・小中教務主任会、児童支援・生徒指導専任会を通しての情報交換 ・各小学校で中学校の職場体験受け入れ ・小学校児童による中学校授業参観並びに、部活動参加体験実施 ・生徒会本部役員による各小学校へのオリエンテーション活動

中期取組目標	○生徒理解に基づき、一人ひとりに寄り添った生活指導や支援の充実に努めます。 ○誰もが意欲を持って取り組み、基礎・基本の定着を図るため、楽しく分かりやすい学習指導の充実に努めます。 ○自他を尊重できる環境を整え、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ○より良い学校生活を送るために、生徒一人ひとりが自ら考え、主体的に特別活動に取り組む学校を目指します。 ○学校行事や様々な活動に一生懸命に取り組むことを互いに認めあい、自信をもって何事にも挑戦していく姿勢を奨励します。 ○快適な生活空間整備のため、ゆたかに花咲く環境作りを目指します。 ○地域ボランティアをはじめとする地域との関わりや集団活動の中で自己有用感を育みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 情報教育	①基本的な学習習慣の定着に向けて個に応じた助言や指導を増やす。②「GIGAスクール構想」実施にともない、生徒の学びに効果的なICTの活用をすすめる。③資質・能力の育成を図るため、教員相互の連携や研修の機会を設定し、様々な場面で授業改善を推進する。
担当 教務係・情報係	
徳 豊かな心	生徒が教材内容を自分事として主体的に考え、物事を広い視野から多面的・多角的に考える授業を目指す。人権や平和について、生徒の発達段階に応じた学習を進めていく。ボランティアをはじめとする地域との関わりや集団活動を通じて、生徒の自己有用感を育む機会をつくっていく。
担当 道徳係・人権係	
体 健やかな体	4月に身体計測、体力測定を行う。学期ごとに体力テストを行い、その変化を知る。また、経年変化を見て、学校全体として取り組まなければならない課題を整理し、生徒に周知していく。保健安全係より、熱中症予防、感染症予防、生活習慣の改善、薬物乱用防止の啓発活動を行っていく。
担当 保健体育科	
公開 キャリア教育	①職業講話を行い、将来の進路決定に向けての意識を付けさせる。②体験的な学習ができることを目標に、1年次で学んだ内容の発展を目指していく。③3年次では①、②での活動をもとに、それぞれが適切な進路決定を目指すことができるよう、継続的な指導を行っていく。
担当 横浜の時間係	
いじめへの対応	①生徒一人ひとりに寄り添い、生徒が自己有用感を持てる環境を作る。②教職員が生徒の些細な兆候や懸念、訴えを把握し、学校の組織的な対応ができるようにする。③①・②の活動ができていくか年間を通して、点検や改善をする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①定期的にメンター研修を実施し、保護者面談や評価に向けてなど、実践的な研修を積む。新教育課程への移行に向けて、指導や学習評価の在り方について研修を深める。②よりよい教育活動を行うために、組織的な取組の充実とPDCAサイクルの確立を推進し、業務の質の向上と職員の負担軽減を図る。
担当 カリマネチーム	
地域との連携 学校運営協議会	①学年での活動や委員会、部活、ボランティアなどを通して、地域行事に積極的に参加し、地域と連携、協力し合う姿勢を高める。②学校運営協議会を開くことで、地域の思いや意見を伺い、学校運営の改善につなげる。また、生徒だけでなく職員も地域と関わり交流する場として活用する。
担当 生活充実指導部	
安全防災 学習の実践	①1年生で「交通安全教育」を実施し、交通安全の意識を高める。2年生は「地域防災拠点防災訓練」に参加し、地域の一員として活躍する人材となる意識を高める。3年生で「救命救急講習会」を実施し、知識・技術を身に付ける。②緊張感のある避難訓練を実施し、緊急時に的確な行動がとれるように指導を進める。
担当 保健安全係	
自治活動の充実	①それぞれの委員会が横のつながりを広げ、全校や学年を越えて、委員会活動が活性化する取組を行う。②全校評議会で話し合った内容を職員をはじめ全校生徒へもつと発信し、生徒と教職員がともに学校を前進させる取組ができるようになる。
担当 特活指導部	
特別支援教育	①不登校生徒への支援を取組の中でも重点を置く。不登校生徒の状況を把握し、どんな支援ができるか、係内や指導部、学年とも協力して支援していく。特別支援ルームの運営がスムーズに行われるようにする。②放課後の学習支援教室が定期的に関けるように体制を整える。
担当 特別支援係	